

**令和 7 年度全国会議シンポジウム
強靱で持続可能な水道システムの構築
～水道カルテから考える水道の基盤強化～
質疑応答・意見交換 議事録（聴講者）**

〔令和 7 年 10 月 30 日（木） 午前 9 時 00 分 開会〕

○会場 1

どなたが発言されたか忘れてしまいましたが、管路を耐震化すると断水戸数が減少するといった話を初めてお聞きしたが、もう一度説明をお聞かせいただけますでしょうか。

○パネリスト（新潟市水道局 技術部長 川瀬 悦郎）

本局では数値シミュレーションを用いて市内のどの箇所で断水が発生するのかをシミュレートしています。

耐震化が不十分な現状だと、かなりの箇所が断水してしまう予測となりますが、将来の耐震化が進んだ状態をシミュレートすると、断水箇所が約半数や3分の2以下に減少し、断水率も減少すると思われるので、その差が耐震化の効果となると考えています。

○会場 1

ありがとうございます。よくわかりました。